日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	アレンジ4	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	サウンドクリエイターコース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	自分で制作した楽曲を保存しておけるようなUSBまたはハードディスク				
担当教員情報					
担当教員	二本柳一明 下條 慧	実務経験の有無・職種	有・トラックメーカー/企業作家		
学習目的					
<p>ポर्टフォリオ制作に向け、各個人が必要とする能力を習得する。</p> <p>作編曲・ミックス・音作りなど、多方面からのアプローチにより、楽曲のクオリティ向上を目指す。</p>					
到達目標					
<p>各自が目指すクリエイター像により高いレベルで近づく。</p> <p>しっかりした裏付けに基づく知識と技術を身につけ、より高レベルなポर्टフォリオの作成に反映させる。</p>					
教育方法等					
授業概要	<p>主に生楽器を扱いボイシング手法等を学ぶアナログ班と、DTMベースでアレンジを進めるデジタル班に分かれる。</p> <p>講義等は基本的にその班ごとに行い、演習でさらに細かく個別指導を行うものとする。班の行き来は一定の条件を満たしているならば、可能とする。オプションとして後期には同じ講義内容をもう一度繰り返し返すので、自分に合う活用法で利用するものとする。</p> <p>受講生は1週間のうちに添削用の楽曲を準備、授業ではその楽曲の改善指導を行うものとする。</p>				
注意点	<p>指導に、より客観性を持たせるため二人の講師は極力全員の進行状況を把握するよう努める。</p> <p>弦・管などのセクションレコーディングは9~10月を予定。受講生には自発的に質問・意見を発言する自発性が望まれる。受講生本人が進め方を決める授業なので、讀くたびに自らの力で打開策を見つける必要がある。もちろん教員はその手助けを行う。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	60%	作品提出の他、トピックごとに宿題あり。		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	40%	出席率および受講態度		
授業計画 (1回~15回)					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	5part Voicing①	ストリングスセクションにおける5パートアレンジを習得する			
2回	5part Voicing②	ブラスセクションにおける5パートアレンジを習得する			
3回	5part Voicing③	管弦における5パートアレンジを習得する			
4回	6part Voicing①	ストリングスセクションにおける6パートアレンジを習得する			
5回	6part Voicing②	ブラスセクションにおける6パートアレンジを習得する			
6回	6part Voicing③	管弦における6パートアレンジを習得する			
7回	chord scale voicing①	コードスケールの復習とその仕組みを理解する			
8回	chord scale voicing②	コードスケールの種類と各対応コードを把握しヴォイシングを理解する			
9回	chord scale voicing③	実際にコードスケールを使用した場合のサウンドを分析することにより理解を深める			
10回	対位法①	対位法とは何かを理解する			
11回	対位法②	トラディショナルな音楽での対位法を分析する			
12回	対位法③	ポピュラー音楽での対位法の効果的な利用方法を学ぶ			
13回	卒業制作①	Voicing 対位法を使用してアディショナルアレンジを施す作品を制作			
14回	卒業制作②	制作した作品の最終チェックを行う			
15回	ポर्टフォリオ発表	合同卒業展への参加 作品視聴をできるように手配をする			